

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名：共生社会のための類似度を可視化する情報環境の実現
2. 研究代表者： 後藤 真孝（独産業技術総合研究所情報技術研究部門 首席研究員）
3. 中間評価結果

（1）研究課題の進捗状況と成果の見込みについて

総合評価コメント

音楽、音楽連動動画、Web インタラクション、機械学習のそれぞれの強みを持つ研究者群が研究を進め、統計的機械学習に基づく音楽理解技術と歌声情報処理技術など世界を先導する水準の高い基礎科学的成果を挙げている。また、代表者の強力なリーダーシップのもとで、それらの成果を統合して、音楽コンテンツの鑑賞支援技術と創作支援技術、類似度・ありがち度の推定のための音楽理解技術を構築している。さらに、特に鑑賞支援技術については、Web 上の楽曲の中身を自動解析する能動的音楽鑑賞サービス **Songle** と音楽コンテンツの関係性を可視化する音楽視聴支援サービス **Songrium** の二つの Web サービスとしてシステム化し、一般公開のうへ、実証実験が開始されている。

特に、**Songle** の外部プレーヤ機能の公開により広範な応用展開が始まっていること、**Songrium** が生み出す大規模コンテンツ群を対象とした新たな応用の創出が始まっていることなど、当初の想定を超える研究展開が生まれ、研究者だけでなく、産業界との強力なネットワーク形成が始まっている点は特筆できる。教育への適用など今後の大きな発展の方向も見えてきた。

今後は、音楽、音に限定せず、より広範なコンテンツやデータに対する類似度、ありがち度判定など、汎化された科学技術として深化させることも期待したい。

以 上